

朝のこない夜はない

頑張ることがんばるで

人に勇気ひとゆうきを

与えるあたことができます

山首 鈴木 正修



生きる意味

何のために働くか

「何のために働くか」と聞かれたら、どうお答えになられるでしょう。おそらく「生活のため」とか「生きるため」、「お金のため」と答えられる方がほとんどだと思います。しかし、ただ生活のためだけに働くというのでは少しむなしい気がします。こんな話があります。

アメリカのある鉄道会社の社長さんの話です。ある時、その社長さんが線路の修理現場を視察していると、一人の作業員が親しげに

「久しぶりだね。君も随分、出世したものだね。君が社長になったと聞いた時には本当に驚いたよ」と話しかけて来ました。よく見るとその作業員は、以前一緒に会社に入っていた人でした。その作業員は言葉を續けて「数十年前には一緒に五十ドルの日給を貰うために働いていたのに、君は今いくら貰っているんだい」と言いました。それを聞いた社長は「そうだったのか。君は五十ドルのために働いていたのか。君と一緒に会社に入った時から今に至るまで私は、世の中の人たちに快適に旅をしてもらうために働いて来たんだよ」と言

いました。

この心掛けの違いが、数十年後に大いなる差を生んだのです。

自分の役割

仕事とは、その人が「社会、また人生で役割を全うするために必要なこと」と考えるのが一番いいと思います。

吉田松陰は松下村塾に入ってきた若者に対して必ず「君の生まれてきた役割は何だ」と聞いたといひます。聞かれた若者の多くは「わかりません」と答えたそうです。それに對して松陰は「とにかく誠を尽くしなさい。例えば掃除をするにしても、日常の何をするにも、すべてのことを誠心誠意やりなさい。

そうした時に必ず自分の役割が見えて来ます。物事をいい加減にしていると自分の役割が見えませんが」と言つたそうです。そう言われて一生懸命やつた若者達が明治維新を成し遂げたのです。

発明王として有名なエジソンも、同じ意味のことを言っています。エジソンのところに友人が息子を連れて来た時のことです。友人が「私の息子がこれから社会に出て働くことになるのだが、一ついいアドバイスをくれなしか」と頼むとエジソンはうなずき、その息子と握手をして自分の研究室に掛かっている大きな時計を指差し「時計を見るな」と言つたそうです。時間にルーズになれというのはなく「時間を忘れ、寢食を忘れて働きなさい

い」ということを伝えたかったのです。

エジソンは生涯研究に没頭した人でした。

研究室にこもって没頭するあまり、温かい食事を食べたことがなかったと言います。奥さんは必ず時間通り研究室の机の上に三食用意したそうですが、気付くといつも三、四時間経っていたそうです。

もっと驚くのは、睡眠時間が三、四時間だったことです。それも研究室の端にあるソファで仮眠を取るだけで、普通にベッドで寝るようになったのは、かなり年をとってからだったという話です。

職業の選択

職業の選択には誰もが悩むものです。新渡

戸稲造博士も「職業の選択というのは若者の一つの大きな悩みであろう」と『修養』の中で言っておられます。また「職業の選択には、適正による選択と、偶然による選択とがある」と言っておられますが、多くの人が偶然の方だと思っています。何が自分に合っているか、何が自分の役割か分からないから、たまにまいった会社で頑張る、という人が一般的だと思っています。

「偶然」の分野で新渡戸博士が挙げられている人に、東京大学の教授をされた本田静六（一月号で紹介しました）という方がいらっしやいます。林学の大家で国立公園の多くを作られ、東京の日比谷公園や明治神宮をも設計された方です。

この方は非常に貧乏でした。勉強をしたか
つたけれど、貧乏で学校にいけないかったの
すが、たまたま親戚の人から「月謝のいらな
い学校があるから行ってみないか」と言われ
のち、とうきょうだいがく のうがくぶりがくか
後の東京大学の農学部林学科に入りました。
そこでの学問が合っていたのでしよう、教授
にまでなり、林学の大家と言われるまにな
ったのです。

人間は、たまたまのところでも一生懸命や
るとそれが好きになって、生涯の役割になる
こともあるという良い例です。

日露戦争当時、連合艦隊の参謀を務めた秋
山真之という人がいます。この人のお陰で日
本海海戦に勝つことが出来たといっても過言
ではありません。実はこの人は文学部志望で

した。正岡子規と仲良しで、子規と同じよう
に文学を志していました。ところが普通の学
校に行くお金がなくて、海軍に入ったのです。
その人が日本の存亡の危機を救ったのです。
こういう偶然の選択も良いという事を新渡
戸博士はおっしゃるのです。

一生懸命やること

最近、「阿闍梨問答集」という本を読みま
した。天台宗の千日回峰行を二度成し遂げら
れた酒井雄哉大阿闍梨の問答集です。

この中に、「就職活動をしている学生です
が未だに将来どういう仕事をしたらいいか分
かりません。どうしたら自分のやりたい仕事、
生きがいが見つかるでしょうか」という質問

がありました。酒井阿闍梨は「自分もなかなか分わからなかった。四十歳さいくらいまでいろいろなことをやったが、なかなか思うようにいかなかった。それが、お坊ぼうさんになって修行しゆぎうをするようになり、ようやく腰こしが座すわってきた。なかなか自分の生きる道みちというものは分わからんものだよ。ただ言いえることは、一心いっしん不乱ふらんにやっているとそこに何なんらかの天てんからの導みちびきがある。やっぱり何なにごとにつけ一生いっしう懸命けんめいやることだよ」と言いわれ、一つの例れいを挙あげておられます。

酒井阿闍梨の信者しんじやさんの息子むすこさんの話はなですが、東京芸大で彫刻とうきよくを専攻せんこうし、優秀ゆうしゆな成績せいせきで奨学金しょうがくきんを貰もらって三年間ねんかんフランスのパリに留學りゅうがくをしました。それなのに帰かえって来くるやお母かあさ

んに「もう彫刻ちようこくはやめて、パン屋やになる」と言いったそうです。お母かあさんは「何なんのためにお金かねを出だして芸大げだいまで行いかせたか分わからない。パン屋やにするためじゃない」と怒おこってしまっただそうです。息子むすこさんは「パリに留學りゅうがくして毎日まいパンを食べたべ、本当ほんとうにフランスのパンは美味おいしかった。このパンを自分じぶんでも作つくてみたいと思おもったんだ」と言いい、結局けつぎくお母かあさんの止とめるのもふりきってパン屋やを始はじめたそうです。そうしてパン屋やになるのですが、もともと芸術家げいじゆつかですからパンの形かたちにも非常ひじように工夫くふうがあつて、大成だいせいしたそうです。

この息子むすこさんは何なににつけても一生いっしう懸命けんめいだつたと思おもいます。そこに尊とんさがあつたのだと思おもいます。

人に勇気を与える

論語に「十有五にして学に志す」という言葉があります。ここから十五歳のことが「志学」と言い習わされています。

若くして志を立て、自分の役割を見つけ、一生をまっすぐ行けば、それは素晴らしいことです。今、アメリカの大リーグ・ヤンキースで活躍しているイチロー選手がそうです。

イチロー選手はジョージ・シスラーの持っていた年間安打記録257本を2005年に抜いて262本に伸ばしました。世界一の安打製造機です。去年は日米通算4000本安打を達成しました。張本勲さんが3000本安打を達成した時に、もうこれ以上打つ選手は現われないだろうと言われましたが、400

0本打つ選手が現われたのです。このイチロー選手が小学校の卒業文集にこんなことを書いています。

「僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには中学、高校と全国大会に出て活躍をしなければいけません。活躍するには練習が必要です。僕は三歳のときから練習を始めています。三歳から七歳までは半년くらいやっていましたが、三年生の時から今までは365日中、360日は激しい練習をしています。だから一週間で友達と遊べる時間は5、6時間です。そんなに練習をしているのだから必ずプロ野球選手になれると思います。そして中学、高校と活躍し、高校を卒業してから、プロ野球に入団するつもりです。

球団は中日ドラゴンズか西武ライオンズです。ドラフト入団で契約金は一億円以上が目標です」

実際に入団したのは、オリックス・ブルーブス、今のオリックス・バッファローズでしたが、イチロー選手の凄いの「そして、ボクが一流の選手になったら、お世話になった人に招待券を配って、試合を見に来てもらうのも、僕のもう一つの夢です」と書いていることです。

この時すでに感謝の心を忘れていないのです。すごいことだと思います。

努力を続ける

人によっては、イチロー選手は世のため人

のためになることが自分の役割と思ってやったのではなく、自分の夢を追いかけただけじゃないか、と言われるかと思いますが、イチロー選手が新記録を達成することによって、日本中の人が夢と希望、勇気をもらいました。オリンピックでもそうです。スケートの浅田真央さんが頑張ると皆さん気分が良くなるでしょう。反対に転んだりとガクッと来ます。そういう意味で、特にスポーツ選手は周りの人に勇気を与えることが出来ると思います。

大リーグで活躍した一番最初の人は野茂選手でしたが、野茂選手やイチロー選手の活躍で日本人大リーガーがどんどん誕生しました。やっぱり多くの人に夢と希望を与えたのだと

おも
思います。

かんてく 韓国では女子のゴルフが非常に隆盛です。
にほん 日本でも今、人気があります、韓国の女子
ゴルフは次元が違いくらい人気があり、実力
もあります。女子のメジャートーナメントは
五つありますが、近年ほとんど韓国人が取っ
ています。アメリカでの賞金女王も、日本で
しょうきんじょうおう 賞金女王も韓国人が多いのです。どうして
そんなに強いのかと言うと、今から十数年前、
パク・セリという選手が単身アメリカに渡っ
て、その年に全米女子オープンと全米女子プ

ロの二つのメジャーに優勝したのです。それ
を見ていた当時の小学生の女の子たちが、自
分もパク・セリみたいになりたいと思い、頑
張ったのです。

スポーツ選手だけでなく、いろいろな人が
それぞれの分野で頑張ると、後の人はそれを
見て自分も続こうと頑張るものです。それぞ
れが自分の役割を果たすため不断の努力を続
けていくことが、人生には何より大事なこと
だと思えます。